コロナ禍でのマルチメディアDAISY図書の活用と普及のための取り組み

東京都墨田区立ひきふね図書館
宮下　英美

はじめに

墨田区立図書館の障害者サービス事業については、1970年代から障害者資料の貸出サービスを開始し、障害者施設への出張貸出やお話し会などにサービスを拡大しました。現代では、DAISY図書などの資料作成、宅配サービスやボランティア育成なども行っており、「すべての人に読書のよろこびを」をキャッチフレーズに、事業を進めています。

今回は、コロナ禍で活動が制限された状態でのマルチメディアDAISY図書の活用事例や普及・啓発活動について、ご紹介いたします。

マルチメディアDAISY図書の活用事例

(1)「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所」とのリモートお話し会

コロナ禍までは、放課後等デイサービス事業所へ訪問して、マルチメディアDAISY図書の紹介などを行っていました。

しかし、2020年度は、新型コロナ感染症拡大防止のため、直接施設を訪問しての啓発活動は、控えざるを得なくなりました。そこで、おもに小学生を対象とした放課後等デイサービス事業所を対象に、図書館と施設をオンラインで中継し、本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなどを実施するリモートでのお話し会を始めました。さらに、マルチメディアDAISY図書紹介も組み込んでみました。

リモートお話し会（図書館側）

リモートお話し会（施設側）

今回は、この11月に実施した「スマートキッズプラス錦糸町」での、マルチメディアDAISY図書の活用事例を紹介いたします。

(2) 放課後等デイサービス事業所「スマートキッズプラス錦糸町」とのリモートお話し会

「スマートキッズプラス錦糸町」から図書館に「昨年に引き続き、オンラインでのリモートお話し会を実施したい」との連絡がありました。「読み聞かせなどを含め20分くらいで行ってほしい」との要望があったことから、実施する運びとなりました。

マルチメディアDAISY図書の普及活動に力を入れていたことから、上映の提案をし、リモートお話し会のプログラムの中に入れてもらえることになりました。

テーマを「おいしい秋」とし、そのテーマに沿った出し物を、ボランティアの方々や施設の職員と決めた結果、手遊びを含めたエプロンシアターやパペットを使った絵本の読み聞かせ、腹話術、最後にマルチメディアDAISY図書の上映というバラエティー豊かな内容としました。

今回は、オンラインで施設と図書館を双方に中継し、プロジェクターで上映するため、前日に施設と図書館で音声や映像の通信状況を確認するなど、事前準備を念入りに行いました。当日もリハーサルを行い、音量やマルチメディアDAISY図書を流す速度、照明による光の入り方などの確認を行いました。

当日参加する子どもたちは、小学校２年生から６年生の男女９人で、いよいよお話し会が始まると、さっそく、場面ごとに子どもたちの笑い声やかけ声が聞こえてきて、こちらも反応がわかり、励みになりました。

マルチメディアDAISY図書も子どもたちの集中力が切れないように、クイズ形式の『おにぎり　おむすび』を選びました。この『おにぎり　おむすび』は、独特のリズムで『おにぎり　おむすび中身は、なあに？』と問いかけて、中身の具を当てるものなのですが、上映中は『うめぼし』、『さけ』、『いくら』などの声が聞こえ、子どもたちも楽しんでいました。

上映後に、施設の職員からは、子どもたちは、学校の授業や日常生活でパソコンやタブレット端末を使うことから、マルチメディアDAISY図書は抵抗がなく受け入れやすい、今後もマルチメデイアDAISY 図書をぜひ紹介してほしいとのご意見をいただきました。

(3)「障害者週間」での普及・啓発活動

毎年、当館では、障害者週間に合わせて特別展示を行っています。

障害者週間での展示（図書館）

その中でマルチメディアDAISY図書の展示も行っていますが、今年は展示スペース脇のデジタルサイネージで、マルチメディアDAISY図書の『ももたろう』を１日に４～５回流してみました。

デジタルサイネージでの
マルチメディアDAISY図書の上映

大画面で、目立つこともあり、来館された利用者が足を止めて見てくれました。中には、興味を持っていただき、展示していたマルチメディアDAISY図書を借りていかれる利用者の方もいらっしゃいました。

また、12月６日から墨田区役所で障害者福祉課が主催して行われた「スマイル・キャンペーン」でも、マルチメディアDAISY図書の展示を行いました。

スマイル・キャンペーンでの展示

さいごに

マルチメディアDAISY図書は、紙媒体ではなく電子図書という特徴からいろいろな活用方法が考えられます。

関係機関と協力しながら、これからも子どもたちに、読書の楽しさと喜びを知ってもらえるように模索しながら、マルチメディアDAISY図書の普及・啓発を行っていこうと思います。